

教師用指導案「聖火と聖火リレー」

- 対象： 小学校低学年
- 本時のねらい： 東京 2020 大会の聖火リレーの意味を理解する
- 準備物： OVEP アクティビティシート 12 ページ、色鉛筆（クレヨン）
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、道徳、学級活動、図工 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5 分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】これまでにオリンピックの聖火を見たことがありますか？どんなところに置かれているか考えよう。	オリンピックに聖火リレーがあること、本時はそれについて学ぶことを理解させる。聖火について知っていることを発表させる。	「 東京 2020 聖火リレー授業用参考資料 」
展開 (10 分)	2) 聖火と聖火リレーについて知る オリンピックの聖火は聖火台に大会の期間中、灯されています。聖火を聖火台まで運ぶため聖火リレーが行われます。東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプトについて学びましょう。	東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプト「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」には、どのような願いが込められているか考えさせる。2 人組になって話し合い、クラスで発表する。	東京 2020 ウェブサイト「 東京 2020 オリンピック聖火リレー 」
(25 分)	3) 「クレヨンや色鉛筆を使って、聖火のトーチの握りの部分によく知っている選手をデザインしてみよう」 「クレヨンや色鉛筆を使って、トーチをデザインしてみよう」又は 3) 東京 2020 オリンピック聖火リレーが自分の住んでいる所（都道府県や市区町村）を通るとしたら、どこをリレーしたら良いか考えよう。	トーチの握りの部分のデザインとして有名なアスリーの姿を描く。祭りなど地域の文化を描いても良い。 過去大会のトーチを参考に、オリジナルのトーチを描く。 なぜそのルートを選んだのか、きちんと考えさせる。 1 人で考えた後、2 人組みで意見を交換する。クラスで発表する。	過去の大会のトーチについては「 オリンピック・パラリンピック学習読本中学校編 」p.96-97 東京 2020 大会のトーチやリレールートについては 東京 2020 ウェブサイト「 東京 2020 オリンピック聖火リレー 」
まとめ (5 分)	オリンピック聖火と聖火リレーがどんなものでどんな意味があるか、振り返る。	東京 2020 オリンピック聖火リレーに関心を持たせる。	